

第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

The 36th Congress of Japanese Society of Endourology and Robotics

医工連携・新技術検討委員会主催

医工連携企画展示

ブースツアー

募集要項

一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 医工連携・新技術検討委員会

委員長 武中 篤

(鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野)

第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

会長 植村 天受

(近畿大学医学部泌尿器科学教室)

各位

第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 医工連携企画について

謹啓

時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

このたび、第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会が、近畿大学泌尿器科学教室 植村天受会長のもとで、2022年11月10日（木）～12日（土）の間、神戸国際会議場にて開催されることとなりました。

さて、本学会のテーマである内視鏡治療分野において、これまで泌尿器科医は非常に重要な役割を果たしてきました。人体の内部を内視鏡を用いて初めて観察したのは泌尿器科医であり、1853年にフランスの泌尿器科医が尿道から内視鏡を挿入して膀胱内を観察したことが報告されています。一方、ロボット支援手術を現在のように普及させたのも泌尿器科医です。2000年、初のロボット支援下手術システムda Vinci サージカルシステムがFDA（アメリカ食品医薬品局）により認可され、本邦においてもロボット支援手術は泌尿器科医によって前立腺癌や腎癌に対する手術を中心に日本中で広く用いられるようになりました。現在は泌尿器科分野以外でも保険適用が拡大され、ますますの発展が期待されている分野であります。このような時代の流れと共に、昨年、本学会は“日本泌尿器内視鏡学会”から“日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会”へ名称が変更され、今後ますますロボット支援手術の普及が見込まれています。

2019年に開催された第33回日本泌尿器内視鏡学会総会からは、医工連携企画として企業技術と医師のニーズマッチングを目的とした技術展示を、医工連携・新技術検討委員会主催で開催させていただき、両者にとっても有意義な意見交換を行う場となりつつあります。学会の価値は、議論を通してどれだけ価値のある研究（sustainable development）を生み出していけるかということにあると考えております。そのための取り組みとして、今後もこの企画を継続して参りたいと考えております。

泌尿器科ではすでに前述のような先端的低侵襲手術が広く普及しており、国産医療機器開発の視点からもそのニーズは極めて多くかつ広く存在しています。しかし、残念ながら、機器開発に寄与するプラットフォームの整備は十分とは言えず、これまでこれらの知識や情報を収集する場が存在しませんでした。このたび、植村天受会長のご高配により、引き続きニーズマッチングを目的とした技術展示を開催することとなりました。経験豊富な泌尿器科医が「ツアーコンダクター」となり、アイデアやニーズを持った泌尿器科医とともに展示ブースをまわる企画となります。出展される企業様にとっては、貴社が持つ技術を、関心を持つ泌尿器科医へ向けてプレゼンする絶好の機会となります。企業と医師が活発な名刺交換、意見交換ができる場となるよう企画に工夫を凝らして参りたいと考えております。

この泌尿器科領域の医工連携企画にご興味をお持ちの企業、団体様は、ぜひ出展の検討を賜れば幸いです。末筆になりましたが、貴社のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

2022年3月

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
医工連携・新技術検討委員会
委員長 武中 篤

一般社団法人日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 概要

主催・学術団体名

名称(和文):一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

名称(英文):Japanese Society of Endourology and Robotics

理事長:羽瀨 友則(秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座)

住所:〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目11-6 八重洲KNビル 6F

TEL:03-5542-1915

FAX:03-5542-1925

URL:<https://www.jsee.jp/>

会員数:約4,000名

設立:1987年

目的:本会は、泌尿器内視鏡学をはじめとする泌尿器低侵襲医療及び泌尿器科領域の医療工学に関する研究、教育及びその普及、発展に努め、関連機関との連携を図り、もって国民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

事業:本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)学術集会、学術講演会等の開催
- (2)教育に関する事業
- (3)機関誌 その他出版物の刊行
- (4)泌尿器腹腔鏡技術認定制度に関する事業
- (5)泌尿器内視鏡学に関する研究及び調査
- (6)内外の関係学術団体との連絡及び提携
- (7)啓発活動の実施
- (8)その他 本会の目的を達成するために必要な事業

第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 開催概要

1. 名称

(和文): 第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

(英文): The 36th Congress of Japanese Society of Endourology and Robotics

2. 会長:

植村 天受(近畿大学泌尿器科学教室 教授)

3. 会期:

2022年11月10日(木)～12日(土)

4. 会場:

・神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

TEL: 078-302-5200

・神戸国際展示場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-11-1

TEL: 078-302-1020

5. 大会テーマ:

未来へと続くエンドウロジーへの果てなき試み

-「怨」のころをもつて-

Enduring Endeavor for Endless Endurology

6. 参加対象者:

医師、看護師、臨床工学技士、初期臨床研修医、学生等

7. 参加者数:

2,000 名(予定)

8. 総会の主旨:

本総会は、一般社団法人日本泌尿器科学会と密に連携をはかりつつ、Endourology、ESWL、ロボット支援手術および泌尿器科領域の診断・治療と Medical Engineering に関する研究成果の発表を行い、Asian Society of Endourology ならびに World Congress on Endourology などの関連国際学会と積極的に交流を深めることにより、国際的にも医療の進歩に貢献することを目的とします。進化と変貌を続ける泌尿器科学のなかで、医療の原点である尿路内視鏡治療を基本に、ESWL、腹腔鏡手術ならびにロボット手術をはじめとするハイテクノロジーを駆使した新しい低侵襲性医療の研究と開発、ならびにその標準化と普及に重要な役割を果たしております。日本泌尿器科学会会員のおよそ半数が所属する大きな組織であり、腎尿路の低侵襲性治療法の教育と普及に大きな役割を果たしております。

9. 総会の概要(予定)

1) 学術プログラム

- ・重要講演(特別講演、文化講演、特別企画、医工連携特別企画、等): 約10演題
- ・シンポジウム、ワークショップ等: 約 80演題
- ・一般演題(公募) 約 800演題 他

2) 共催セミナー(参加者への情報提供)

- ・ランチョンセミナー、イブニングセミナー、ハンズオンセミナー
- ・スポンサードセミナー 他

3) 学会事業

- ・JSE 指定教育プログラム、JSE 腹腔鏡ワークショップ

4) 学会会議

- ・理事会
- ・代議員総会
- ・各種委員会

5) 企業展示

- ・泌尿器内視鏡に関する機器、関連するデバイス、泌尿器疾患治療薬、研究機器、書籍等の展示

6) 医工連携企画展示

- ・要素技術と医師のニーズのマッチングを目的とした技術展示

医工連携企画展示・展示ブースツアー・ニーズ相談概要

1. 催事名称

医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画展示・展示ブースツアー・連携相談

2. 展示日程

2022年11月10日(木)～12日(土)

3. 展示場所

神戸国際展示場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-11-1

TEL:078-302-1020

4. 実施責任者

一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 医工連携・新技術検討委員会
委員長 武中 篤(鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野)

5. 目的と意義

各企業の有するユニークで優れた技術の紹介を主旨とし、要素技術と医師のニーズのマッチングを目的とします。

6. 展示ブース数

約30ブース(予定)

7. 展示ブースツアー

医工連携・新技術検討委員会委員が「ツアーコンダクター」となり、自身のアイディアの実現可能そうな企業を探している医師や、面白い新技術のある企業を探している医師を複数名連れて、医工連携企画展示ブースをまわる企画となります。

出展される企業にとっては、自社が持つ要素技術へ関心の高い医療者へ向けてプレゼンする機会となります。

ツアー終了後に参加医師との名刺交換、意見交換の場を設ける予定です。

医工連携企画出展要項

1. 出展対象

高度なものづくり技術を有する中堅・中小企業・団体、または地域産業支援機関

2. 出展料金

種類	単位	小間サイズ	出展料金
基礎小間	1小間	(W1,980×D900×H2,100)	¥55,000

※上記料金には消費税 10%が含まれております。

※展示ブースツアーについては、申込みいただいた企業様へ後日別途詳細をお知らせいたします。

3. 出展小間数

30小間(予定)

4. 展示小間割の決定

出展規模、出展内容、申込み順等を考慮し、医工連携・新技術検討委員会で決定いたします。

※1ブース1社が基準となります。出展社が主催者の承諾なく、小間の全部または一部の譲渡や展示場所の交換を行うことはご遠慮ください。

5. 出展社へのご案内

展示出展を希望される企業様には、ガイダンスを予定しております。

開催の1か月前までに、小間割・搬入・装飾・管理などについて詳細をご連絡いたします。什器・照明器具などのリースもあわせてご案内いたします。

6. 展示物について

本展示は製品ならびに製品情報の展示ではなく、要素技術と医師ニーズのマッチングを目的としており、各企業の有する技術の紹介が展示の主旨となります。

完成品の販売促進が目的となる場合は、「総会企業展示」の方へお申し込みください。

※展示物等が本企画主旨に合わない場合、出展をお断りすることもございます。

7. 会場・会期・開場時間の変更

やむを得ない事情により、会場、会期及び開場時間を変更する場合がございます。

上記を理由として出展申込みを取り消すことはできません。変更に関する補償は行いません。

8. 注意事項

1) 海外出展物

展示場は、保税展示場にはいたしません。海外からの出展物は、国内貨物として出展するか、またはATA カルネの制度をご利用ください。詳細は運営事務局にお問合せください。

2) 出展物の販売禁止

会期中、現金と引き換えに出展物を引き渡すことは禁止いたします。ただし、当方の認めたものは、限定的に許可する場合がございます。

3) 会場の管理

会場及び出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災、その他の不可抗力による事故、盗難、紛失及び出展小間内における人的災害の発生については、医工連携企画は補償を含めた一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

9. 医工連携企画への参加について

1小間につき3名様まで医工連携企画参加証を発行いたします。3名を超える参加者につきましては、別途「第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」の参加申込みが必要となります。なお、医工連携参加証では会員懇親会を除くすべてのプログラムに参加することが可能です。その他諸注意に関しましては別紙「医工連携企画参加証について」をご覧ください。

【医工連携企画展示コーナー 図面案】

神戸国際展示場 1号館1階

展示会場(機器展示、医工連携ブース展示)



申込方法

1. 申込み方法について

申込みは、添付の申込書を下記、第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会運営事務局までメールに添付しご提出ください。

2. 申込み締切日

2022年9月12日(月)

但し募集小間数に達した時点で、お申込みを締め切らせていただく場合がございます。

3. お支払方法

第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会運営事務局より請求書を送付いたします。
2022年10月28日(金)までに指定口座にお振込みください。

4. 出展の取消

2022年9月12日(月)以降のキャンセルは、対応できかねますので、予めご了承ください。

5. 申込み・お問い合わせ先

第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 運営事務局

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町2-1-25 JTBビル7階

株式会社JTBコミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内

E-mail: jser2022-sponsor@jtbcom.co.jp

展示日程及び設置概要

1. 日程(予定)

搬入・設置	11月9日(水) 夕方以降(予定)
展示会	11月10日(木)～11月12日(土)
搬出・撤去	11月12日(土) 夕方以降(予定)

※詳細は第2報にてお知らせ致します。

2. 小間規格

基礎小間(パッケージブース)

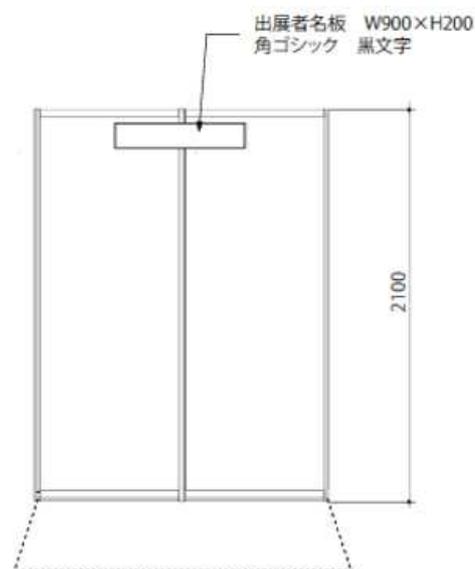
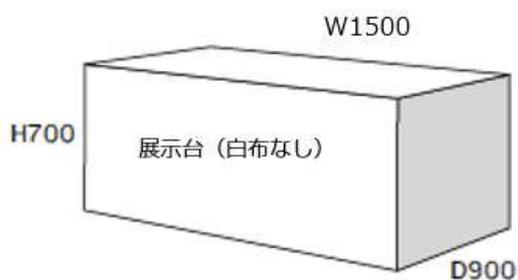
1 小間 = W1,980mm × D 900mm × H 2,100mm

展示場所によっては基礎小間の仕様を変更する可能性があります。ご了承ください。

下記の物をご用意いたします。上記以外の小間内装飾は、出展者が行ってください。

- ・バックパネル(ポスターパネル)サイズW1,980×H2,100
- ・展示台 サイズW1,500×D900×H720
- ・社名版サイズW900×H200
- ロゴ等必要な場合は別途ご指示ください。(有料)**
- ・椅子 1 脚

基礎小間図(※イメージ)



3. 装飾

装飾は搬入・設置時間内に完了してください。

4. 禁止事項

火器、水、プロパンガス、圧縮空気の使用は、原則的には禁止します。

技術展示に「水、プロパンガス、圧縮空気」が必要な場合は、運営事務局までお問い合わせください。その他、後日配布する出展者マニュアルに記載された事項を遵守してください。

5. 電気

出展者の希望により有償で、電気(交流単相二線式 100V60ヘルツ)小間まで供給いたします。それ以外の特殊電源に関しては別途ご相談ください。

また、コンセント等、電気 2 次幹線工事については後日ご案内をお送りいたします。

医工連携・新技術検討委員会 委員一覧

委員長	武中 篤	鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野
理事長	羽瀨 友則	秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座
委員	那須 保友	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学
委員	金山 博臣	徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野
委員	植村 天受	近畿大学医学部 泌尿器科
委員	藤澤 正人	神戸大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学分野
委員	河内 明宏	滋賀医科大学 泌尿器科学講座
委員	三股 浩光	大分大学医学部腎泌尿器外科学講座
委員	江藤 正俊	九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野
委員	中川 健	東京歯科大学 市川総合病院 泌尿器科
委員	木下 秀文	関西医科大学 腎泌尿器外科学講座
委員	土谷 順彦	山形大学医学部 腎泌尿器科学講座
委員	井上 啓史	高知大学医学部泌尿器科学講座
委員○	宮嶋 哲	東海大学医学部附属病院 泌尿器科
委員○	吉村 耕治	静岡県立総合病院泌尿器科
委員○	影山 進	滋賀医科大学 泌尿器科学講座
委員○	日向 信之	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 腎泌尿器科学
委員○	成田 伸太郎	秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座
委員○	森實 修一	鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野
委員○	和田 耕一郎	島根大学医学部 泌尿器科学講座
委員○	楠原 義人	徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野
委員○	大關 孝之	和泉市立総合医療センター 泌尿器科

○：実行委員

【お問い合わせ先】

第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 運営事務局
 〒541-0056 大阪府中央区久太郎町2-1-25 JTBビル7階
 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内
 E-mail: jser2022-sponsor@jtbcom.co.jp